

大紀町ふるさと文化遺産シンポジウム

道は文化を運ぶ

大紀町には、熊野古道伊勢路が通り、ツツノト峠をはじめとする参詣道が残されています。また、伊勢から熊野を目指す人々は海路も利用し、錦は海上交通の拠点として人や物の往来を支えてきました。さらに、錦から笠木峠を越えて奈良・大和へ至る「魚（いよ）の道」があり、海と山を結ぶ道として重要な役割を果たしてきました。本シンポジウムでは、陸と海の道を手がかりに、大紀町の歴史を考えます。

31

令和8年 月 日(日)

13:30～16:00

開場 / 13:00 開演 / 13:30

会場 / 大紀町コンベンションホール
大紀町崎 2200番地1

定員 / 150名(先着順)

参加費無料

**参加
申込**

問い合わせ先：西村(戸畔の会)

携帯：090-6085-6744

Eメール：purukasan0310@gmail.com

※参加者名、人数をご連絡下さい。

講演

テーマ：熊野古道と山辺路・
海辺路・海の道

皇學館大学名誉教授

岡田 登氏



テーマ：伊勢と大和をつなぐ道

川上村文化財保護審議会会長

成瀬 匡章氏



トークセッション

熊野古道の活かし方

パネラー：岡田 登氏 成瀬 匡章氏

主催：錦戸畔地域活性化プロジェクト実行委員会

協力：大紀町・大紀町教育委員会・大紀町観光協会・戸畔の会・ISOMON

後援：熊野古道語り部友の会・三瀬坂峠を守る会・宮川流域案内人の会

本事業は令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)の補助を受けて実施しています。